

地域の牽引役である集落営農組織を中心に話し合いを推進したプラン

やまがたし むらきさわ

(山形県山形市村木沢地域(H25.3作成、H27.3見直し))

《概要・データ》

地域の特徴	山形県内陸の中央に位置し平地から中山間地までである地帯。 地区内農家数14集落284戸、地域内農地面積250ha。
中心経営体	個別経営9名、法人経営1
出し手となる農業者	52名《提供予定農地面積50ha》
農地集積	現状(H24) 70 ha(集積率30%) → 目標(H29) 150ha(集積60%)



消費者を交え盛大に枝豆体験イベントによる交流も実施

《特徴的な取組》

- ・ 当該地域では、平成18年から担い手を中心に組織した特定農業団体が小麦・大豆・そばの団地化に取り組み、地域の牽引役としての役割を果たしてきたが、人・農地プランの話し合いを通じて地域の方が安心して農地を任せられることを目指して当該特定農業団体を平成25年4月に法人化（あじさい営農組合）した。
- ・ プラン作成後も当該法人を中心に継続して話し合いを行い、平成26年3月に水稻部門の受け手として当該法人へ農地集積を推進するためのプランの見直しを行うとともに、平成26年9月には当該法人を中心に地域の水田の再編を図る等、定期的にプランの見直しを行っており、今後は、農地中間管理機構を通じて地域の農地集積を予定している。
- ・ あじさい営農組合では、土地利用型作物に加え、伝統野菜等の園芸作物の作付けを行うなど多様な担い手の活躍の場を設定するとともに、里芋、大豆を使った加工品の製造など6次産業化の取組みを積極的に展開している。また、消費者を交えた枝豆の収穫体験を実施する等、地域の活性化を図っている。
- ・ 集落営農の法人化により平成25年から農の雇用事業を活用して、新規就農者2名を雇用し、新たな農業の担い手として期待されている。



25年春から雇用している新規就農者。主に機械作業を担当。

《プラン作成・見直しの経緯》

- ・ 平成25年3月プラン作成。
- ・ 平成26年9月プラン見直し。
- ・ 平成26年3月プラン見直し。
- ・ 平成27年3月プラン見直し。

(山形市位置図)

